

「きららカップ2022」大会における新型コロナウイルス感染防止対策

【大会の開催にあたって主催者側が行う対策】

- ・無観客試合とする。
- ・開場時の時間差入場・アップを時間差で行う。
- ・スタンド席の事前割振り（固定）を行い、席の間隔を広くする。（座る座席の制限）
- ・スタンドのみの利用とし、控え場所は設けない。（招待・インター・ナショナル選手は除く）ストレッチスペースでの個人のストレッチマット等の使用は許可する。
- ・臨時更衣室を設ける。状況を見て、更衣室の利用人数制限を行う。
- ・3密を回避するための招集所レイアウトを通常大会とは変更する。
- ・消毒液を施設内各所に設置し、複数の者が触れると考えられる場所は、こまめに消毒作業を行う。
- ・3密状態回避の注意喚起のための館内巡回や電光掲示板案内表示や通告を行う。
- ・競技役員はマスク（品質の確かな、できれば不織布）、フェイスシールドを着用する。
- ・入館者全員に大会2日前からの健康チェック表を提出してもらい、入館者の情報調査を行う。
- ・入館者全員に大会2週間前からの健康チェック・行動歴の記載、大会2週間後までの保管をお願いする。
- ・競技役員には事前に以下の同意内容を確認してから、参加してもらう。
- ・受付・招集所・通告のビニールカーテン・アクリル板による遮蔽を行う。
- ・定期的に窓や扉を開放して換気を徹底する。

【大会に参加するにあたって参加者・関係者が遵守すべき事項】

- ・大会前に入館者全員が以下の内容に同意してから、エントリーを行う。

同意内容 1 （公財）日本水泳連盟の『水泳競技会における新型コロナウイルス感染拡大予防（ガイドライン）』、（公財）日本スポーツ協会チェックリスト、山口きらら博記念公園の施設貸出時の感染防止策チェックリスト及び当連盟大会実施要項・詳細資料・感染防止対策に記載されている注意事項を厳守し、主催者の指示に従う。

2 退館後2週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、（一財）山口県水泳連盟をはじめ関係諸機関の指示に従い、協力する。

- ・入館2週間前から以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる。
- ☐ 平熱以上の高熱（概ね37.5℃以上） ☐ 咳・風邪等の症状（花粉症は除く）
- ☐ 倦怠感（強いだるさ）がある ☐ 味覚・嗅覚に異常がある
- ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ☐ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・（公財）日本水泳連盟、（公財）日本スポーツ協会、山口きらら博記念公園水泳プール、当連盟ガイドラインを必ず熟読してから参加すること。
- ・厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を携帯にインストールすること。（携帯を持っていない又はインストール出来ない機種は除く）
- ・選手・引率者は2日前からの健康チェック表を提出する。
- ・選手・引率者は大会2週間前からの健康チェック・行動歴記載、大会2週間後までの保管をする。
- ・マスク（品質の確かな、できれば不織布）を持参し、泳いでいるとき・食事をするとき以外は必ず着用すること。マスクを外しているときは、会話を慎む。
- ・こまめな手洗い、手指消毒を行うこと。
- ・他の選手やコーチ、競技役員等との距離（2m以上、最低1m以上）を確保すること。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、本連盟に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。